



# がんアライアワード 2022 応募シート

貴団体名（正式名称）

従業員数（〇〇名）

業種

担当者

メールアドレス

記入例

## ■ 記入するときのポイント

- ① 貴団体名は正式名称を記入ください。アワードに関連する資料等はここに記入いただいた名称で取り扱わせていただきます。  
(特に、全角・半角、アルファベット・カタカナ等にご留意ください)
- ② 各項目のチェックリスト□に該当する場合は、対象の□にカーソルをあてて左クリックをしてチェックマーク☑を付けてください。
- ③ 各項目のチェックリスト□を参考に記入してください。がんに特化した仕組みではなくてもかまいません。たとえば「柔軟に休みがとれる仕組みがある」「健康面の不安など気軽に相談できる窓口がある」など、治療しながら働くことにプラスになる取り組みについて記入してください。
- ④ 過去に応募くださった企業様は、前回のエントリーと異なる取り組み箇所を、可能な範囲で結構ですので**赤字で記入してください**。
- ⑤ **記入いただいた内容は、がんアライ部のウェブサイトや SNS・表彰式当日の事例紹介として各所に掲載します。**

審査に必要と思われる情報で、掲載不可の情報がありましたら、**蛍光ペン (黄色)**で指定してください。

※ 昨年度受賞企業事例集もご参考にしてください。 <https://www.gan-ally-bu.com/report/2911>

## 【風土づくり】

がんに罹患した際、役職者や人事担当を含めて、すぐに会社を辞めなくていいと伝わる風土づくりをしている

がんへの理解を深める教育や検診・休暇など、制度が使いやすい風土づくりをしている

\* がんに罹患しても働きやすい風土づくりを行うために、取り組みを進めていることを具体的に記入してください

・がんに限らず病気に関する知識を身につけるため、有識者による研修を不定期で開催している。

・日頃よりフレックスタイムでの勤務が機能しており、育児や介護でも本人の事情に合わせて休暇を取得できる雰囲気がある。

## 【相談できる環境づくり】

がんに罹患した社員が、上司に仕事や治療のことを相談できる環境がある

人事担当が、がんに罹患した社員の治療や勤務に関して、外部の医療従事者と相談する環境がある

\* がんに罹患したときに相談できる体制づくりについて、取り組みを進めていることを具体的に記入してください

・上司との面談の機会が月に1度以上あり、面談の際には業務のこと以外も相談できる雰囲気がある。

【制度】

社員の健康増進やがんを早期発見するための取り組みがある

がんに罹患した際、治療を支援する制度や復職時に働きやすい制度がある

\* がんに罹患したときに本人が使える制度として、取り組みを進めていることを具体的に記入してください

・がんでの利用実績はないが、病気に罹患した際の休暇制度がある。

・定期健康診断（精密検査の場合はフォローメールを配信）

-----  
■ 続いて、取り組みを行われている団体の方は、がん治療と仕事の両立に関する取り組みを実施したきっかけをお教えてください。

例) 社内のメンバーががんに罹患したことがきっかけで、人事担当者ががんセミナーを開催するようになった 等

・それまでがんに罹患した社員が出た際、個別に人事担当が相談に乗っていたが、病休時に使える制度がわかりにくかったため、一部をまとめてイントラに掲載するようになった。

■ 上記の風土づくり・相談できる環境づくり・制度の各項目に記載されていない「がんと就労」の取り組みや実際に社員が罹患した際のご対応に関するエピソードなどがあればご自由にお書きください。

・今後、時間単位で使える有給休暇を整備する予定。

・「がんアライ宣言」を社内で展開し、周知する予定。

■ 今後のがんと就労に関する取り組みについて、やっていきたいことや抱負をお聞かせください。

・今後、〇〇〇〇〇〇に取り組んでいきたい。

以上です。ご記入いただき、ありがとうございました。